

姉妹友好提携地域との交流を深めるには

AKB Future Project 推進委員会

北海道姉妹友好提携地域ラウンド・テーブル・ミーティング

- 日 程 平成 30 年 8 月 4 日 (土)
- 各地域 アルバータ州 (カナダ)、黒竜江省 (中国)、マサチューセッツ州・ハワイ州 (アメリカ)
サハリン州 (ロシア)、慶尚南道・済州特別自治道 (韓国)、チェンマイ県 (タイ)
- 高校生 6 名 (各校 2 名) 北海道旭川永嶺高等学校、立命館慶祥中学校高等学校
北海道登別明日中等教育学校 (5 回生 高橋 生、久居由茉)

6カ国8地域の代表者が集う

北海道命名150年事業の一環として、北海道と姉妹友好提携を結ぶ地域が一堂に会する意見交換会が開催されました。

このミーティングは、第1部のユースセッション、第2部のラウンド・テーブル・ミーティングの2部構成で、高校生は第1部のユースセッションが見せ場でした。

高校生の国際交流の取組

本校を含めた3校の高校生が参加し、各学校の国際交流の取組状況についてプレゼンテーションを行いました。

パワーポイントを使用した7分間のプレゼンテーションで、本校6年間の国際理解教育について、海外とのテレビ会議、イングリッシュキャンプ、通訳ボランティアなど様々な取組について説明しました。最後に、姉妹提携地域との国際交流を推進するために2つの提案をしました。

1つ目は、姉妹友好提携地域を繋ぐグローバルアプリの開発です。学生たちが直接交流することを促進し、お互いの地域の交流についての情報などが更新されることで関心が高まることを期待したものです。

2つ目は、姉妹友好提携地域フェスティバルの開催です。姉妹友好提携地域を招いて、北海



道民へ広く知ってもらうことを目的にしたものです。特産品の販売や



伝統芸能発表など文化を体感できるものです。

高校生からの国際交流推進への提言

各校からのプレゼンテーション後に、3校の意見を併せた、高校生からの提言書が、各姉妹友好提携地域に配付され、旭川永嶺と立命館慶祥の生徒が代表して読み上げました。

- ICTを活用した国際交流
- 姉妹友好提携地域の青少年による国際会議やフェスティバルの開催
- 姉妹友好提携地域での社会体験

第2部は...

北海道を含め、各姉妹友好提携地域から国際交流についてのプレゼンテーションの後に、意見交換がありました。いくつかの地域の代表から、時には高校生の発表を踏まえながら、今後の交流について意見が出されました。

最後にまとめとして、北海道の辻副知事より、共同宣言が発表されました。その中に、「青少年が参加できる国際イベントや社会体験プログラムを通じて、国際的な視点・感覚を持った人材の育成と、青少年の地域間交流への参加の促進を図ることが重要」とありました。今後、姉妹友好提携地域交流の一層の発展が期待されます。